



NPOバンクサポーター便り

2006年10月
Vol. 16



第4回通常総会のご報告をいたします

8月28日(月)にNPOバンク事業組合・北海道NPOバンクの第4回通常総会が札幌市中央区民センターで開催されました。2005年度事業・活動報告や決算報告、2006年度事業・活動計画などについて提案どおり可決されました。

また、NPOバンク事業組合は、理事の任期満了につき改選がおこなわれ、下記のような顔ぶれとなりました。

【写真】NPOバンク事業組合高木
理事長(左)と議長・澤出理事



NPOバンク事業組合 役員

理事長 高木晴光

理事 石澤利巳、加藤知美、北村美恵子、澤出桃姫子、杉山さかゑ、瀧谷和隆、平賀貴幸、森田裕子、山田澄子

監事 小沼千佳子

NPOバンク5年目！さらなる飛躍を！

特定非営利活動法人北海道NPOバンク

理事長 杉岡直人

NPOが事業能力を高めることを支援し、新たな公共を担えるようになることを目的にして取り組んで5年目を迎えた。介護事業に取り組むNPOの運転資金や環境保全活動あるいは小規模作業所のつなぎ融資などの資金ニーズに応え、ついに融資額の累計は1億円を超える段階に入った。

一方で、近年は労働金庫や国民生活金融公庫などもNPOへの融資を充実させる動きを見せており、今後はよりNPO支援のNPOバンクらしい活動資金提供をメニュー化していきたいと考えている。また、NPOバンクの仕組みは全国各地に広がりを見せており、貸金業への規制を意図する金融行政への対処など各地のNPO関連団体と連携した取り組みも始まっている。北海道NPOバンクとしては、こうした動きを機敏にとらえて主導的な役割を果たせるようさらに改革を進めていきたい。

～両理事長の06年度への抱負～

NPOバンク事業組合

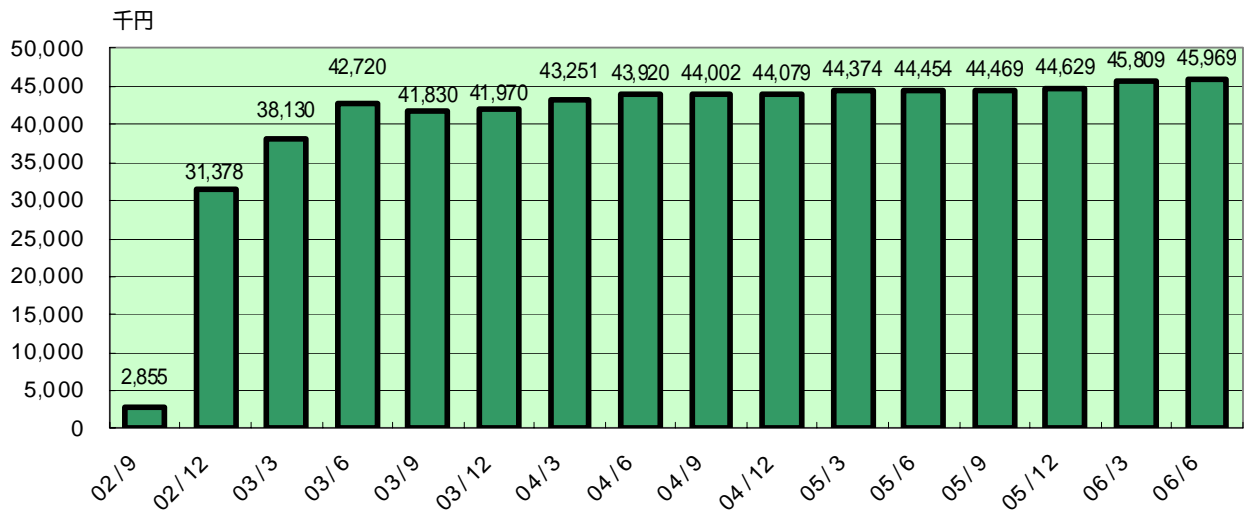
理事長 高木晴光

社会活動に経済性をしっかりと持たせ、「お金」をマネージメントできる団体も増えてきました。しかしながら、社会的に意義のある活動をめざす団体でも、実績が伴わないと、市中金融機関からの資金調達は難しい状況が続いています。また、実績のある団体であっても人材の養成や将来の事業開発に対する「投資」的な運用に使われる資金を借りることは現在でも不可能です。

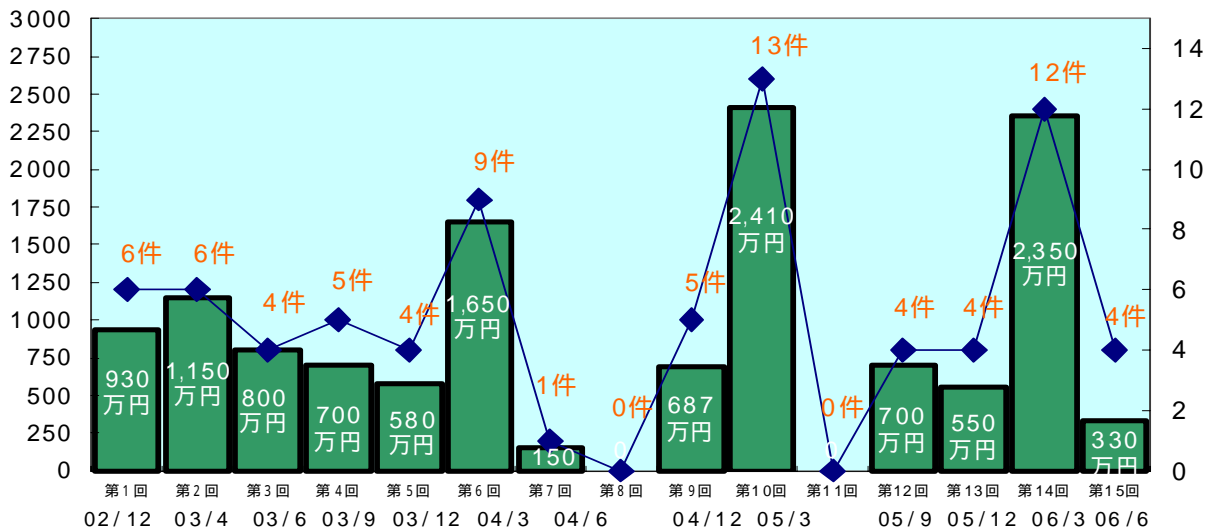
さらに、NPO団体の活動ミッションはこれまで以上に多様化しています。NPOが作り出したNPOのためのNPOによる金融システムの役割は、時代のニーズに合わせてながら変化・変容させてゆく必要があると考えられます。5年目を迎え、NPO活動の相互支援をより一層活発なものとするよう、事業組合として取り組んでいく所存です。

北海道NPOバンク 5年間のあゆみ

出資・寄付金の推移



融資状況



第2回全国NPOバンクフォーラム報告書 好評発売中

第1回の札幌での開催(2004年7月)に引き続き、2005年12月に東京で開催されたフォーラムは、全国のNPOバンク関係者が参加し、2日間にわたり熱い議論がかわされた。分科会の詳細も掲載。

価格 1,000円(税込)

■目次■

- 開会の挨拶:「NPOバンクとは?」
- 報告1:市民の資金ニーズ-借手からの視点から-
- 報告2:エコ貯金キャンペーン-3億円が動いた-
- パネルディスカッション「金融を手探りする」
- 分科会▲(分科会1)こんな金融教育が必要▲(分科会2)NPOバンクのつくり方講座-私たちがつくりませんか?- Shall we bank? - ▲(分科会3) How to manage -市民が作り・支える・NPOバンク- ▲(分科会4)今、地域に必要な「お金」のしくみ▲(分科会5)NPOバンク融資申込みワークショップ

北海道NPOサポートセンター(4p参照)にて販売

ホームページからもご注文いただけます <http://npo-hokkaido.org/cart/cart.cgi>



頑張るぞ！NPO

お金が無い時は判断が後ろ向きになる？

NPO法人オーディナリーサーヴァンツ
理事 五十嵐 友子

当法人は 町(人口約3000人)から高齢者グループホームの運営を委託されていた。その町が平成17年秋に 市に吸収合併となった。委託から、流行の指定管理に変わるにあたり、思いもよらぬ事態が発生した。平成16年のグループホーム開設時に前払いいただいたひきつぎ資金を急遽、年度内清算せよとの指示。ふけばとぶような財政基盤のわが法人に、短期間で500万円近い返済を迫ってくるとは？借りてる立場で、資金に余裕の無いことを威張るつもりは無いが、にわかになんか納得も出来なかった。担当者は「返済する現金が無いのは、そちらの法人の問題でしょ(市が配慮することでは無い)」と、後ろを向いたまま告げた。

その日、理不尽なおもいに捕らわれたままの私は事業所に帰るなりスタッフをつかまえ「いっそ指定管理を返上するか？」と持ちかけた。もともと行政に過度の期待をしないよう、戒めてやってきた。しかし、今おもえば行政委託にいい気になり「こちらが、してやっている」という驕りもあっただろう。ついつい、こちらまで後ろ向きになってしまったと反省している。その時は冷静なスタッフが「まあまあ、そう早ま

らずに、NPOバンクで貸してもらえたら借りて、まずは3年やりましょう」となだめてくれた。実際NPOバンクのスピード融資に助けられた。あの時の審査で、民間金融機関並みの書類提出や期間が求められていたら、くじけていたかもしれない。窓口担当もヒアリングも、どちらが借りる方かわからないくらい丁寧な対応だった。その後事業は何事も無かったように継続されているが、授業料以上の学びはあった。当法人からも、わずかながらNPO事業組合に出資している。

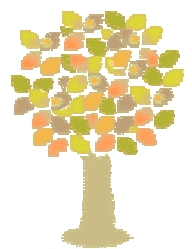
それが、どこかのNPOの前向きな判断の支えになれば、こんなに嬉しいことはない。借りてよし(?)出資してよし、のNPOバンクありがとう。



NPOバンクアンケート集計結果の詳細を公開しました

昨年実施したNPOバンクアンケートにたくさんの方にご協力いただきありがとうございました。集計結果はNPOバンクサポーター便り Vol.15 (2006年7月発行)に概要をご報告したとおりです。このたび詳しい分析を交えてホームページで公開しました。

北海道NPOバンクホームページ http://npo-hokkaido.org/bank_hp/



NPO法人の活動基盤強化に関する研修会が開かれました

9月15日(金)北海道クリスチャンセンターを会場に、内閣府国民生活局主催(北海道NPOサポートセンター、NPO推進北海道会議、北海道NPO越智基金、NPOバンク、北海道税理士会共催)による「NPO法人の活動基盤強化に関する研修会」がひらかれました。講演では、NPO会計税務専門家ネットワーク理事長の赤塚和俊氏が、NPOの資金調達には情報発信が重要であることなどを指摘したほか、札幌国税局から認定NPO法人制度について説明がありました。また、道内唯一の認定NPO法人である霧多布湿原トラスト事務局長の伊東俊和氏が事例発表をおこないました。

第1回NPO夏の北海道セミナーが開催されました



8月23日(水) 北星学園大学を会場に日本NPO学会・北海道NPOバンク共催による「第1回NPO夏の北海道セミナー」がおこなわれ、80人が参加しました。「NPOと自治体の協働を〈具体的〉に考える」として、宮脇淳氏(北海道大学公共政策大学院長)の基調講演がおこなわれました。宮脇氏は、協働の本質は「共に考え共に行動する」として従来型の官民の一方的な関係のお任せ民主主義を脱却した、多様で創造的な関係性の新しい協働について話されました。また、公と民の中間領域の拡大に対処するための新しい仕組みづくりの必要性を示しました。午後からは、「1%支援税制」「認定NPO法人」「市民出資」「NPOバンク」をキーワードに、協働のウィキペディア(インターネット上で自由参加による共同編集をおこなう百科事典)として、NPOの税制と資金支援についてそれぞれ4人と6人のパネリストが参加して熱い討論が交わされました。また、夕方からはブッフエスタイルの懇親会が開かれ、道外からの参加者も含めてなごやかな交流の場となりました。



午後の部でモデレーターを務め、日本NPO学会理事でもある北海道NPOバンク樽見弘紀理事に開催後の感想をうかがいました

一般論としては、学会と銀行にはいくつかの共通点があります。いずれも長く権威主義的で、クローズドな組織の代表選手としてやってきた、という点です。ですから、「そろそろ入れてやる」「しびしび貸してやる」がそれぞれの基本的な考え方でした。

ところが、今回のセミナーの共同主催者であった日本NPO学会と北海道NPOバンクは「同業他社」とはちょっと違っている。と同時に、お互いは多くの共通点をもっています。その最たるものは、「志は

高く、敷居は低く」という、パイオニアの矜持のようなものではないでしょうか。

今回のセミナーは両方の団体にとって欠かせない理解者・応援者と出会えるアウトリーチ(こちらから出向いていってつながる!)活動の一環だった訳ですが、橋渡し役として、懇親会の場で確かな手ごたえを確認しあう両「直人」代表(山内直人会長、杉岡直人理事長)の笑顔に、まずまずの成功を確信、胸をなでおろしたのであります。さて、「第2回」はあるか(笑)。

ひとまず関係者のみなさま、
本当にお疲れさまでした。



NPOバンク融資申込みのお知らせ

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 第17回融資 | 申込開始2006年10月17日~11月1日/融資実行12月中旬以降 |
| 第18回融資 | 申込開始2007年1月17日~2月1日/融資実行3月中旬以降 |
| 第20回融資 | 申込開始2007年4月17日~5月7日/融資実行6月中旬以降 |

* 上記日程はあくまで予定ですので事務局までお問い合わせ下さい *

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います。また、NPOバンク事業組合にご加入の方で、住所等に変更があった場合はお手数ですが事務局までご連絡ください。

御連絡ください。NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm